



### 松江の企業が防爆シートシャッター

空気圧で開閉  
世界初の開発

シートシャッター製造の「小松電機産業」(本社・松江市)は、空気圧で駆動する防爆シートシャッターを開発した。中小化学工場プラント老朽化による爆発事故を防ぐため、電気を使わずに空気圧を利用したシート

シャッターは世界初という。

同社が開発している「門番」シリーズの1環。工場の防爆区域で利用するため、シートは静電気を帯びないようガラス繊維に塩化ビニールでコーティング。スイッチを押すと、電気を使わず空気圧のみで開閉できる。

上昇スピードは最速で秒速1・2倍、下降は秒速0・8倍で、防じんや防虫効果、更に室内温度の変化を最小限に抑え、省エネにも役立つとしている。既に堺市や出雲市など4社で納入されている。価格も従来の電気で駆動するシートシャッターに比べて安く、3倍四方で約300万円と20%以上減。

このほかにも、風圧に強い屋外向けのパイプ式、冷蔵冷凍庫仕様、幅広い装置に組み込み可能なタイプも新たに開発した。問い合わせは小松電機産業(050・3161・2490)。